

令和6年 9月12日(木)

全校朝礼 ～ 進路指導課と人権教育課による講話 ～

全校朝礼で、進路指導課の岡田先生による講話がありました。岡田先生は「今から30年後、高校生の皆さんが50歳位になった2050年代の科学技術はどうなっているのでしょうか？あらゆるものに影響するのが、スーパーコンピュータの1億倍の速さの量子コンピュータが実用化されていると言われています。これによってコンピュータ技術が革命的に進み、人と同じように会話や動作ができるAIロボット、橋や道路などの建設物を無人で作る工作機械ロボット、人口光合成、脳波を読み取り無言で会話するテレパシー、などがある未来が想像されています。政治・経済的には、30年前にはいわゆる後進国であった中国やインドが台頭してき

ています。30年後にはグローバルサウスといわれる南米・アフリカなど南半球の国々の力が強くなっていると言われています。このような目まぐるしい科学技術や社会情勢の変化の中に皆さんはいます。そんな様々な世の中の変化に適應するための力になっていくのは、単純なことですが、今できる目の前の勉強や部活動や何か好きなこと、できることを懸命に頑張ることに尽きると思います。3年生は就職する人も進学する人も、この9月からは今後の人生を大きく左右する大事な時期がきています。1・2年生は具体的な進路決定への時間はあっという間に過ぎてしまいます。今の科学技術ではタイムスリップして過去をやり直したり未来を変えたりすることはできませんので、保護者や他の大人、友人などに自分から積極的によく相談して、将来後悔しないよう自分の進路について真剣に主体的に考えてほしいと思います。」と、話されました。

次に人権教育課の坂根先生による講話がありました。「校長先生が「思いやりの心」「相手のことを思う気持ち」が大切であることは、色々な機会にみなさんに伝えてきたところです。改めて、教室に掲示されている松工人権宣言の4番目と5番目を確認して見てください。4番目、私たちは、互いの個性を認め、仲間を大切にします。5番目、私たちは、相手のことを考えて行動できる人になります。この松工人権宣言に基づいた人間関係を大切にしていきたいと思います。」と、話されました。



全校朝礼



講話をされる岡田先生



講話をされる坂根先生